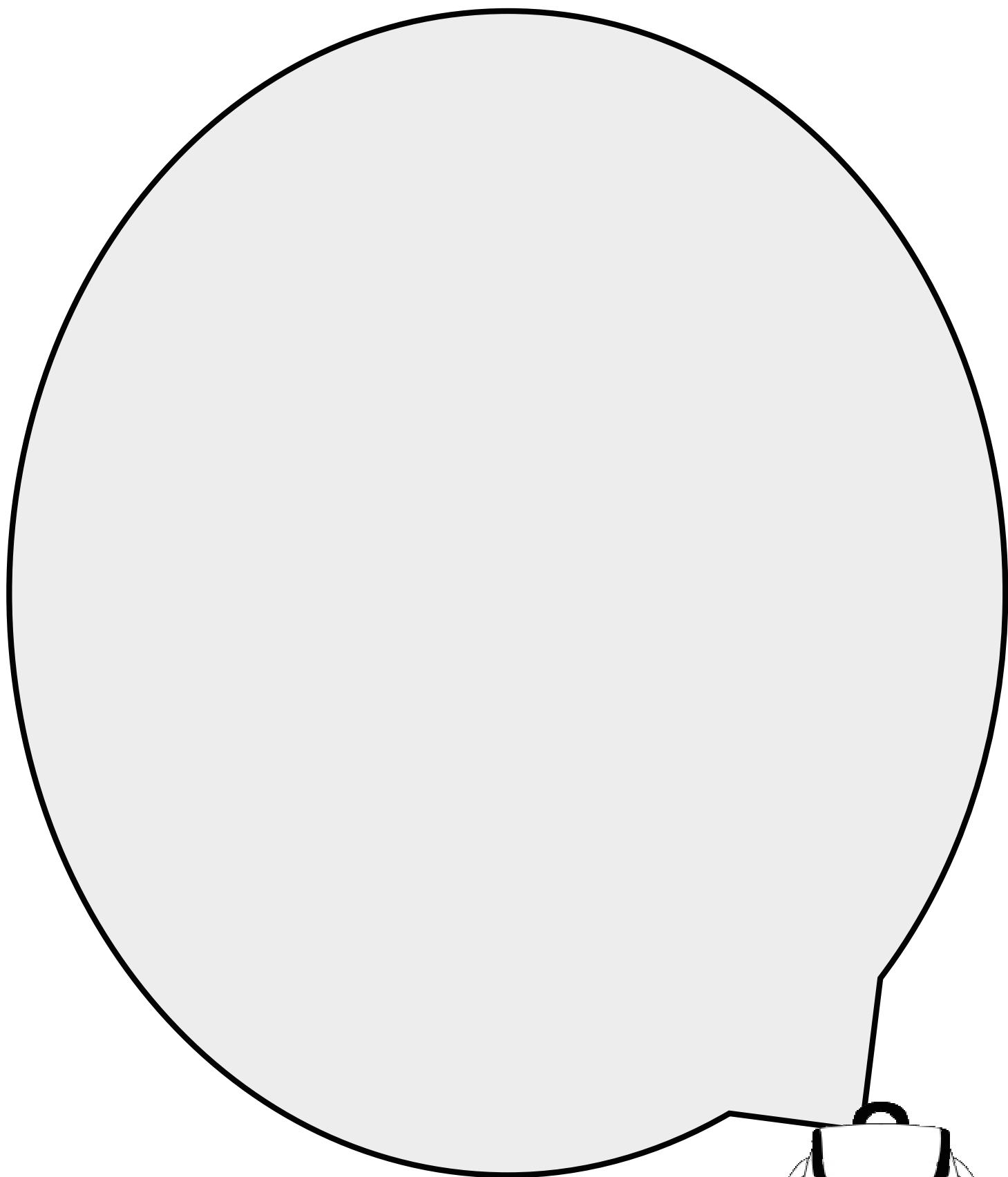


My 持ち出し袋シートの使い方

My 持ち出し袋シートは、持ち出し品ワークショップのまとめの作業で使います。ワークショップは、主に子どもたちが、生活に密着した物を通して防災・減災を考えるきっかけをつくり、備えや共助の意識を養うことを目的に、減災・復興支援機構（東京）が考えました。ワークショップは下記の手順を参考に進めてください。

- (1) 身の回りにある15品目を用意します。例えばガムテープ、ロープ、ラップ、フェルトペン、ライター、ごみ袋、針金ハンガー、新聞紙、空のペットボトル、アルミホイル、タオル、気泡緩衝材（プチプチ）、カッター、段ボール、トランプなどです。このほかの物でも大丈夫です。
- (2) 大地震が発生し、電気や水道、ガスが止まったケースを想定し、避難所や自宅で生活する際に、役立ちそうな物を15品目の中から、1人1品ずつ選び、どんな使い道があるか考え、発表します。
- (3) 数人のグループをつくり、それぞれのメンバーが選んだ物について他の用途に使えるか、組み合わせで新しい使い方ができないか、意見を出し合ってください。
- (4) 15品目から必要な物をもう一つ選んだり、15品目以外で欲しい物を考えたりしてください。
- (5) 最後に自分の考えたことや話し合いを踏まえて、当面の避難生活に必要な物を、My 持ち出し袋シートに書き込みます。各家庭にシートを持ち帰り、家族と話し合って非常持ち出し袋を用意してください。

My持ち出し袋を作ろう!



名前:
